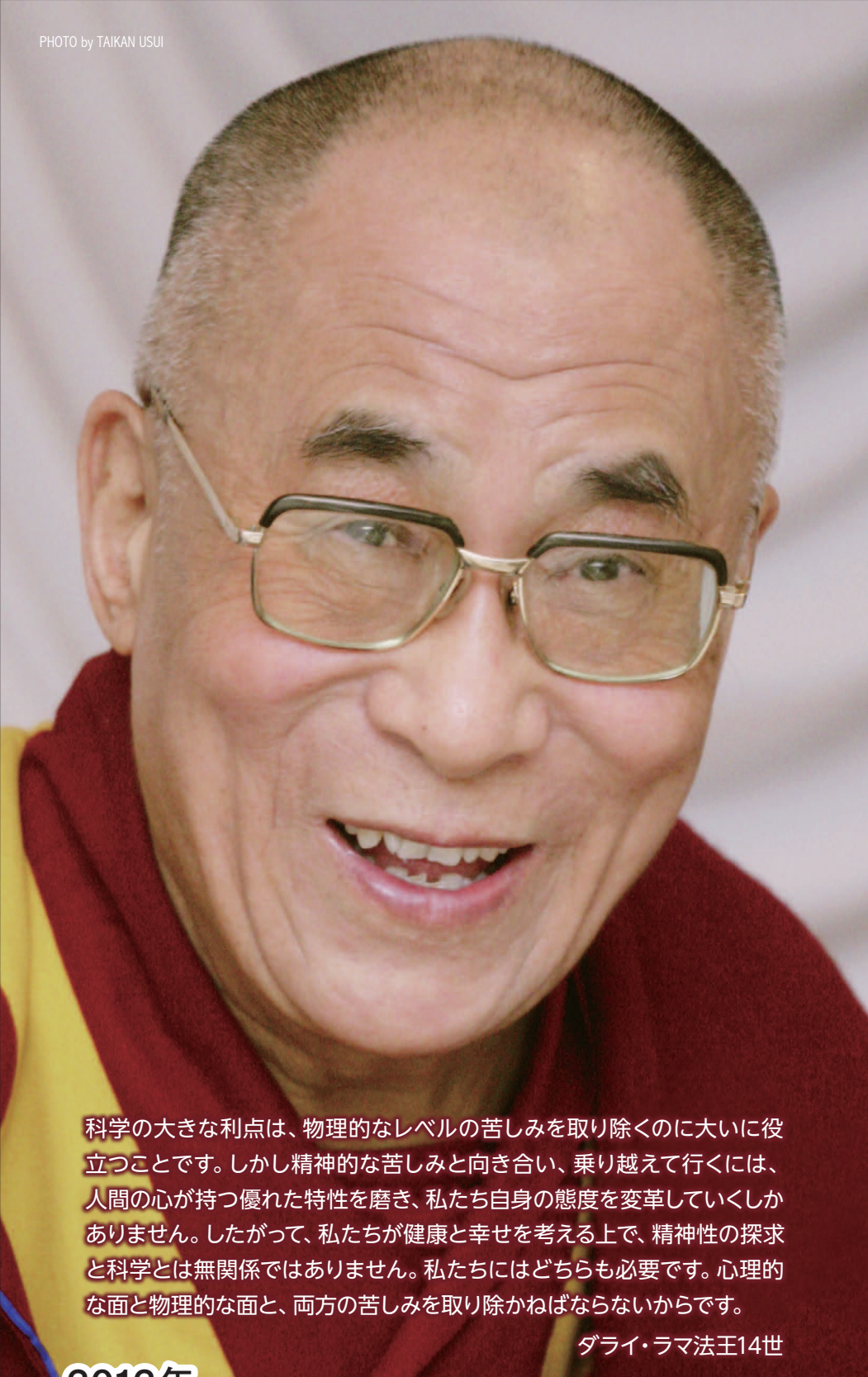




— 日本からの発信 —

ダライ・ラマ法王と
科学者との対話

科学の大きな利点は、物理的なレベルの苦しみを取り除くのに大いに役立つことです。しかし精神的な苦しみと向き合い、乗り越えて行くには、人間の心が持つ優れた特性を磨き、私たち自身の態度を変革していくしかありません。したがって、私たちが健康と幸せを考える上で、精神性の探求と科学とは無関係ではありません。私たちにはどちらも必要です。心理的な面と物理的な面と、両方の苦しみを取り除かねばならないからです。

ダライ・ラマ法王14世

2012年

11月6日(火) Session : 01 / 9:10~11:30 [開場 8:10]
Session : 02 / 13:25~15:50 [開場 12:25]

11月7日(水) Session : 03 / 9:05~11:30 [開場 8:10]
Session : 04 / 13:20~15:00 [開場 12:20]

入場料 S席 ¥12,000 / A席 ¥10,000 / B席 ¥7,000 / C席 ¥5,000

※入替制・複数申込可

※午前の部、午後の部とも通しでご参加いただく方は、お昼休憩時間にあまり余裕がございませんので、各自、昼食のご準備をされることをお勧めいたします。

※チケットは、Sessionごとにお買い求めください。4つのSessionすべてに参加する場合、チケットは4枚必要です。

【問い合わせ先】

「ダライ・ラマ法王と科学者との対話」実行委員会 事務局
ダライ・ラマ法王日本代表部事務所(チベットハウス・ジャパン)
URL <http://www.tibethouse.jp/>
〒160-0022東京都新宿区新宿5-11-30 第五葉山ビル5階
TEL:03-3353-4094 / FAX:03-3225-8013
E-mail:koshikawa@tibethouse.co.jp

ホテルオークラ東京 平安の間 [本館1階]

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL.03-3582-0111

東京メトロ[銀座線]虎ノ門駅 出口3、[日比谷線]神谷町駅 出口4b、

[南北線・銀座線]溜池山王駅 出口13、[南北線]六本木一丁目駅 改札口出口 ※いずれも徒歩10分以内

主催：ダライ・ラマ法王と科学者との対話 実行委員会 協力：ダライ・ラマ法王日本代表部事務所(チベットハウス・ジャパン) / ダライ・ラマ法王沖縄招聘委員会

PHOTO by TAIKAN USUI



宇宙や生命のより深い理解のために、世界の諸問題の解決のために、チベット仏教の最高指導者でありノーベル平和賞受賞者のダライ・ラマ法王14世と、日本の科学者が共に互いの境界線を越え交わることで、今までにない新たな科学の創造の可能性に挑む。

【プログラム】

1日目／11月6日(火)

● Session：01／9:10～11:30

主催者挨拶 実行委員長 村上 和雄 (筑波大学 名誉教授)

来賓挨拶 大本山總持寺 貴首 江川 辰三 猊下

ダライ・ラマ法王と科学者との対話(セッション1)

オープニングスピーチ ダライ・ラマ法王

● Session：02／13:25～15:50

ダライ・ラマ法王と科学者との対話(セッション2)

● イブニングレセプション／17:30～

※イブニングレセプションに法王はご参加されません

2日目／11月7日(水)

● Session：03／9:05～11:30

ダライ・ラマ法王と科学者との対話(セッション3)

● Session：04／13:20～15:00

ダライ・ラマ法王と科学者との対話(クロージングセッション)

会場／ホテルオークラ東京 平安の間 [本館1階]

《ご注意》

- ・当日は、混雑が予想されますので、お早目にご来場ください。
- ・写真・ビデオ撮影厳禁のため、カメラ等の持ちこみを固くお断り致します。
- ・講演中の録音は固くお断り致します。
- ・警備の都合上、ご入場の際に金属探知機等による身体及び手荷物チェックをさせていただきます。
- ・乳幼児のご同伴は他のお客様のご迷惑になることもございますので、なるべくご遠慮ください。
- ・講演中は必ず、携帯電話の電源をお切りください。
- ・本講演のチケット料金は、講演の実施に必要な経費を賄うためのものであり、利益目的としたチャージは一切加算されておりません。

【イベントに関するお問い合わせ】

「ダライ・ラマ法王と科学者との対話」実行委員会 事務局

ダライ・ラマ法王日本代表部事務所(チベットハウス・ジャパン)

URL <http://www.tibethouse.jp/>

〒160-0022東京都新宿区新宿5-11-30 第五葉山ビル5階

TEL:03-3353-4094 / FAX:03-3225-8013

E-mail:koshikawa@tibethouse.co.jp

主催：ダライ・ラマ法王と科学者との対話 実行委員会



実行委員長 村上 和雄
(筑波大学 名誉教授)



実行副委員長 下村 満子
(ジャーナリスト)

●対話科学者プロフィール(順不同)



河合 徳枝 Norie Kawai

医学博士 国際科学振興財団主任研究員

お茶の水女子大学卒業、筑波大学大学院医学研究科修了。早稲田大学研究院客員教授。専門は精神神経科学、情報環境学。バリ島フィールド研究歴25年。世界ではじめてバリ島舞踊儀礼におけるトランス現象の生理学的な計測実験に成功。感性情報、芸術情報と脳という切り口から、人間がいかなる動物かを追求。



佐治 晴夫 Haruo Saji

理学博士 鈴鹿短期大学学長 大阪音楽大学院客員教授

立教大学理学部数学科卒。東京大学大学院物理学専攻修了。東大物性研究所、NASA客員研究員、玉川大学教授などを歴任。量子論的「無」からの宇宙創生理論にかかわる「ゆらぎ理論」の第一人者。宇宙研究の成果を平和教育の一つの題材として位置づけ、JAXA(宇宙開発研究機構)宇宙連詩編集委員長も務める。



志村 史夫 Fumio Shimura

工学博士 静岡理工科大学 教授

名古屋大学工学博士(応用物理)。日本とアメリカで、半導体結晶等の研究に従事。現在、静岡理工科大学教授、ノースカロライナ州立大学併任教授、応用物理学会フェロー。最近ではインド・ギリシャ哲学、現代物理(特に量子論、宇宙論)、生物機能、物質と生命などに興味を持っている。文系・理系著書多数。



柳沢 正史 Masashi Yanagisawa

筑波大学医学医療系/テキサス大学サウスウェスタン医学センター 教授

米国科学アカデミー正会員。筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻教授。専門は分子薬理学と神経科学で、神経ペプチドの役割を解明した。近年は内閣府最先端研究開発支援プログラムの中心研究者として高次精神活動の分子基盤解明とその制御法の開発に取り組む。



矢作 直樹 Naoki Yahagi

医学博士 東大大学院医学系研究科救急医学分野教授

金沢大学医学部卒業。京都大学大学院医学系研究科中退。専門は救急医学、集中治療医学、医用生体工学。麻酔科をはじめ救急・集中医療、外科、内科、手術部などを経験。東大医学部附属病院救急部・集中治療部部長を兼務。前東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻教授と工学部精密機械工学科教授。



横山 順一 Junichi Yokoyama

理学博士 東大大学院理学系研究科附属ビッグバン宇宙国際研究センター教授

東大理学部物理学教室助手、米フェルミ国立加速器研究所客員研究員、京大基礎物理学研究所助教授、スタンフォード大学客員研究員などを歴任。専門は初期宇宙論と宇宙構造進化論。トップダウン型手法とボトムアップ型アプローチの併用で、宇宙の創生から現在に至る宇宙進化史の総合的な解明をめざす。



米沢 富美子 Fumiko Yonezawa

理学博士 慶應義塾大学名誉教授

専門は物性理論、特に個体物理学。京都大学基礎物理学研究所助手、同研究所助教授、慶應義塾大学理工学部教授などを歴任。ニューヨーク市立大学客員研究員など海外での活躍も多い。不規則系の物理の研究の第一人者。女性として初めて日本物理学会会長を務めるなど日本の女性科学者の草分けで著書も多い。



村上 和雄 Kazuo Murakami

筑波大学名誉教授 財団法人国際科学振興財団理事 パイオ研究所所長

京都大学大学院博士課程修了。筑波大学応用生物科学系教授などを歴任。分子生物学者にして遺伝子工学の世界的な権威で、日本学士院賞はじめ受賞は数多い。遺伝子の解明を突きつめた「サムシング・グレート」の言葉は余りにも有名。ダライ・ラマ法王との深い親交から今回、実行委員長を務めることになった。

●モデレーター(Session01～04)



下村 満子 Mitsuko Shimomura

ジャーナリスト 元「朝日ジャーナル」編集長

慶應義塾大経済学部卒。ニューヨーク大学大学院修士課程修了(経済学専攻)。朝日新聞社入社。ニューヨーク特派員、「朝日ジャーナル」編集長、ハーバード大ニーマン特別研究員、編集委員などを歴任後、フリーのジャーナリストに。ダライ・ラマ法王とは度々インタビュー。両親の事業を引き継ぎ、医療経営でも異才を発揮。数々の受賞歴。役職も著作も多い。